

(用紙I) 本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

都道府県名	19 山梨県
市区町村名	19204都留市
自治体区分	都道府県

R7仮申請時もしくは事業計画時に提出していただいた目標に対しての評価・分析等を記載してください

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和8年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先	
19204都留市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	令和6年度末に市内小中学校の半数がコミュニティ・スクールとなったが、学校と地域をつなぐコーディネーターを中心とした、事業推進と持続発展を支える人的体制をまだ整備・構築できていない。	都留市における「地域学校協働活動」を核としたコミュニティ・スクール運営の持続発展と自立性を担保するため、ヒト・コト・モノのコーディネート機能を備えた（学校と地域の）地域学校協働本部へと発展させる。中核にコーディネーターチームを据え、その活動を支援する体制として関係各所のサポーターズ、行政、アドバイザーの連携体制の構築、目的目標の共有化により、各種連絡会の開催や各種研修、人材活用等、機能的包括的連携協働を図る。	①CSコーディネーターの試験的配置	コーディネーターの配置と活動開始により、CS事業としての地域学校協働活動が動き始める。調整役を得ることで、学校と地域のコミュニケーションが円滑になる。 また、教職員は、地域人材（リソース）の把握及び活用の相談先・調整役を得ることで、教育課程に係る地域人材の活用が維持・発展する。	コーディネーター配置数	0	人	1	0	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	学校運営協議会を中心機能とし、学校目標の共有や、地域との相互理解、関係性の構築、学校ニーズに応じた支援体制整備等を着実に進められた一方で、学校と地域の調整を図るコーディネーターについては、持続可能性を担保するためにも、次の世代の人材確保も視野に入れながら、適切な人材の発掘や確保に努める必要がある。	市HP
19204都留市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	上に同じ	上に同じ	②人材ネットワークの形成・運用 サポーターズ（関係各所の地域組織・人材）の発掘とネットワーク（連携協働）体制の構築及びリソースの活用	地域学校協働本部の整備及び構築に係る人材ネットワークの形成・運用により、行政内外の関係各所における連携協働の機運が高まる。 学校に配置されたコーディネーターは、自力で得られるよりも幅広い公式的、共感的なリソースを得ることで、コーディネート活動を充実させることができる。 学校と地域は、リソースの共有によって「チーム学校」の実現に向かっていく。	サポーターズ（組織等）	0	その他	10	21	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	学校運営協議会の実施や地域学校本部の整備により、行政内外の地域組織や人材の関係性が構築され、熟議を通して、目標やビジョンを共有し、子どもたちの成長を支えるための多くのサポーターズとの協働を実施することが出来た。	市HP
19204都留市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	上に同じ	上に同じ	⑤各種研修の企画開催	ターゲット（教職員・PTA・保護者全般・児童生徒・高校生・大学生・CS委員・地域全般・・）や目的に沿った内容・手法等をアドバイザーとともに丁寧に企画した学習会や各種研修会を実施することにより、各地域・市全体のCS事業の周知・質の高い共通認識と理解の促進を図り、また、継続的な実施と、コア層への連続講座等を実施していくことで、地域の人づくりに繋ぐ手立てとしていく。	効果的な研修・学習会の企画数	0	件	1	2	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	CSアドバイザーとともに、学校・地域・保護者・児童など多くの方を対象としたCS学習会を開催し、50名を超えた参加者による大型熟議を実施し、「地域」という共通テーマに対し意見や課題点を共有することで、「地域とともにある学校づくり」に向けた効果的な学習会となった。また、CSマイスターを招聘し、市全体でのCSと地域学校協働活動に関わる関係者に向け、CS特別学習会を開催し、CSと地域学校協働活動の一体的推進とその持続発展のため共通認識や理解促進を図った。	市HP

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。